

令和5年度
ベンチャーキッズスクール事業

補助金交付申請様式

(様式第1号)

令和5年6月13日

ベンチャーキッズスクール
実行委員会会長 様

団体名称 : かわもとあそラボ
代表者役職 : 代表
代表者氏名 : 大村 信望

令和4年度ベンチャーキッズスクール事業費補助金交付申請書

上記補助金の交付について、ベンチャーキッズスクール補助金交付要綱第3条の規定により、下記のとおり申請します。

記

1. 事業名 (※) the Next Stage of Kids II

2. 事業費総額 307,500 円

3. 補助金交付申請額 250,000 円

4. 事業実施期間

 開始予定日 : 令和5年 9月 1日

 完了予定日 : 令和6年 2月 29日

(添付資料)

- 実施計画書 (様式第1号-2)
- 経費積算書 (様式第1号-3)
- 申請団体の事業概要等が分かるパンフレット等
 (※) 事業名には、貴団体が実施されるベンチャーキッズスクールの
 名称を記入してください。
- 感染症拡大防止対策表 (様式第5号)

(様式第1号-2)

令和5年度ベンチャーキッズスクール事業実施計画書

実施団体名 (かわもとあそラボ)

1. 事業の目的及び概要

今年度も昨年度に引き続き、中高生視点での問と解決策を以下のように整理しています。

問については以下の2点があがりました。

- ①多様な人や業種の人との交流が少なく、限られたことしか知ることができない
- ②大人から与えられた課題をこなす事は、本当の意味での起業家精神とは違うのではないか

①については、沢山の人と関わりながらものを作ることで、様々な年代の人や業種の人と交流が生まれ、小中高生に新たな刺激を与えることが出来ます。これにより、小中高生の興味の幅を広げる事ができます。

②については、大人に縛られない自由な環境で1から事業計画やその計画を行動に移す実行力、計画性を養う事で「真の起業家精神」を生み出すことができます。

小学生の時点では、計画通りにこなす事で精一杯ですが、中学生、高校生と成長していく過程で、自らの考えた事業計画の完成度やその時点で備わっている実行能力の把握、周囲の人も巻き込み、他視点からの考え方を学ぶことができます。また、本事業の制度を活用してプログラムを継続させていくことにより、参加者とサポーターの両方を経験することができ、参加者だけでなくサポーターの育成の機会も生まれ、関係者全員の成長につながります。加えて、参加者が成長してサポーター側に回ることで、未来の担い手を成長させるという循環も生まれます。さらに、中高生が主体になることで大人の影響をうける事を最小限にする事が可能になり、小学生の思いや発想力をより純粋に形にすることが出来ます。

以上のことから、以下の4つを目的に掲げ事業を実施していきます。

- ①興味の幅を広げること (小学生)
- ②成功体験を通して自信を持ち、チャレンジ精神を養うこと (小学生)
- ③事業計画の立案・作成能力を養うこと (中高生)
- ④計画を基に事業を実行する能力を養うこと (中高生)

また、昨年度のベンチャーキッズスクールの経験をふまえ、更に以下の目的を設定します。

- ⑤サポーターという立場を経験し、参加者に教える能力を養う (昨年の参加者)
- ⑥サポーターを育成する能力を養う (中高生)

また、これにより町においては4つの効果が生まれます。

1つ目は、上記に述べたとおりチャレンジ精神の循環が生まれ、小学生が主体的に活動できるという環境ができ、それが町の魅力化や知名度アップに繋がります。

2つ目は、事業計画の作成能力や実施能力をもった中高生が育つことで、将来起業する人が生まれるかもしれないということです。これにより、未来の担い手を育むことができます。

3つ目は、本事業の活用により、小中高生間の育成サイクルが生まれます。

4つ目は、子どもたちが将来大人になり町の主催するイベントの中心になったとき、イベントに参加した経験を活かすことで、町を維持発展できることです。

概要としては、今回は初心者クラスと経験者クラスの2つに分けてイベント出店を1回、イベント開催を1回実施します。イベント出店に向けて、初心者クラスではイベントに参加して見学や体験をし、自分たちのやりたいことを軸に商品を開発していきます。経験者クラスでは、中高生からの指導を受けながら初心者クラスのサポートをしていきます。イベント開催に向けては、経験者クラスの小学生がリーダーとなって初心者クラスの伴走を行いながらイベント内容や出店内容を考えていき、中高生は全体のフォローにまわるかたちで、イベント開催を支えています。

地域の大人の方とも連携し内容の充実と実現可能性を高めます。

(事業目的等作成担当 川本中学校：佐藤③)

2. 事業の具体的内容

●実施スケジュール及びスクールの内容

回	日程	場所	内容	備考	事前準備
1	9月	ふるさと会館	①開校式 ②自己紹介 ③掘り起こしWS	①事業の目的説明、サポーター紹介等 ②グループで学年と名前をいう ③1グループ5人で一人一人にやりたい事を具体的に出す サポーター(小学生サポーター含む)が小学生たちの意見を付箋に書き留める	・付箋 ・ペン ・模造紙
2	9月	ふるさと会館	①具体化WS	①掘り起こしWSで出た案を実現させるために必要なことを具体化させていく	・付箋 ・ペン ・模造紙
3	10月	イベント	①説明 ②見学 ③体験	①何をするのかどんなイベントかの説明 ②小学生サポーターが見本としてイベント出店を行う ③↑上記の内容を小学生にも体験してもらう	
4	10月	オレンジ	①試作 ②パッケージ作成 ③振り返り	①3回目で決めたものを講師の方に教わりながら試作 ②商品のパッケージの案出し作成 ③振り返りシートを使って振り返り	・講師依頼 ・材料
5	11月	オレンジ	①製造 ②パッケージング ③振り返り	①商品の製造 ②商品のパッケージング ③振り返りシートを使って振り返り 次回イベントの予定を共有	・材料 ・パッケージ
6	11月	三原まちセン	①販売 ②振り返り	①小学生を中心に販売 ②振り返りシートを使って振り返り	・商品
7	11月	ふるさと会館	①振り返り ②案出し ③案決定	①6回目の振り返り(お金の計算等含む) ②6回目を踏まえて案のブラッシュアップ ③案をグループ内で決定→全体で共有	・付箋 ・ペン ・模造紙
8 ~ 12	11月 ~ 2月	ふるさと会館	①企画 ②試作	①イベントの企画を進める ②販売用商品の試作をする	・講師依頼 ・材料
13	2月	ふるさと会館	①製造 ②パッケージング ③イベント会場準備	①商品の製造 ②商品のパッケージング ③イベント会場の設営	・材料 ・パッケージ
14	2月	ふるさと会館	①販売 ②振り返り ③閉校式	①小学生を中心に販売 ②振り返りシートを使って振り返る ③賞状の製作(スタッフ)	・商品

※日程や場所については、コロナウイルスの感染状況や学校行事次第で変更する可能性があります

●実施場所

- ・ふるさと会館
- ・オレンジ
- ・三原まちづくりセンター

●実施体制

あそラボで活動する中高生を主体に、地域の大人（観光協会スタッフ、飲食店経営者、地域おこし協力隊OB・OG、デザイナー、あそラボスタッフ等）に協力を得て実施する。

●スクールの対象者

小学生4年生～小学生6年生 15名

※サポート役：中高生 10名（内訳：中学生5名、高校生5名）

●スクールの開催にあたって実施団体としての目標

- ・人とのコミュニケーション能力を高める
- ・参加した人を楽しませる
- ・小学生だけでなくサポーターも学びの機会とする

●工夫点

- ・中高生が中心となって計画を実行する
- ・話すのが苦手な子でも、案を出しやすいようにした
- ・小学生と中高生がじっくり関われるようにした
- ・1回だけじゃなく繰り返すことで改善点を見つけて修正出来るようにした
- ・実際に去年経験した参加者をサポーターの立場にまわして、サポーターがいなくても事業が続けていけるようなプログラムを考えた
- ・中高生が大人の立場に立ってサポーターを育成できるようなプログラムを考えた

(様式第1号-3)

令和5年度ベンチャーキッズスクール事業経費積算書

実施団体名 (かわもとあそラボ)

【収入の部】 (単位：円)

項目	金額 (税込)	積算根拠
実行委員会補助金	250,000	500円 × 15人
売上	50,000	
参加費	7,500	
合計	307,500	

※他制度による助成金・補助金や参加費など、その他の収入も記載してください。

【支出の部】 (単位：円)

項目	金額 (税込)		積算根拠
		内補助対象経費	
商材費	110,000	60,000	商品開発用材料7万円 商品製造用材料4万円
記念品費	60,000	60,000	3000円 × 20人
賃借料	45,000	45,000	イベント開催場所賃借料
デザイン料	30,000	30,000	チラシ等制作委託料
印刷費	30,000	30,000	ポスター、チラシ等印刷料
講師料	20,000	20,000	講師委託2回分
消耗品費	7,500	0	筆記具等
保険料	5,000	5,000	イベント保険料
合計	307,500	250,000	

※費目別、経費区分別 (謝金、旅費、印刷費、消耗品費等) に記載してください。

(積算書作成担当 川本中学校：佐藤③)

(様式第5号)

実施団体名 かわもとあそらぼ 感染症拡大防止対策表

且付 _____

	時刻	内容	詳細	準備物 等	備考
受付	14:00	受付	消毒、健康観察票記入提出	消毒液、健康観察票	
スクール開催中	14:10～ 17:30	様子観察 換気	活動中に体調が悪そうな参加者がいないか観察 できる範囲で換気		

(感染防止対策表作成担当 川本中学校：佐藤③)